

# 日本超音波医学検査研究会 第10回総会ならびに第10回研究会発表会 プログラム

総 会      1985年3月31日(日)15時50分より  
            (発表会終了後開催します)

会 期      1985年3月31日(日)

会 場      長瀬産業(株)東京支社 地下1階  
            〒103 東京都中央区日本橋小舟町5番1号

研究発表会会長 古 木 量 一 郎  
北里大学病院臨床検査部  
〒228 相模原市北里1-15-1  
☎0427-78-8111

## 演者・司会一覧

3月31日(日)

発表時間	演 題 名	演 者	座 長
9:00～9:12	9-1 肝癌の脈管内腫瘍超音波像	南里 和秀	丹生谷 徹
9:12～9:24	9-2 肝脂肪浸潤の超音波診断 —第1報 肝・脾CT比との比較—	高坂 登	
9:24～9:36	9-3 胃の超音波検査の有用性について	岩下 浄明	
9:36～9:48	9-4 超音波による胸骨旁リンパ節転移の検出	佐久間 浩	井田 喜博
9:48～10:00	9-5 新しいインスタントB&WフィルムFP-3000Bの使用経験	田谷美代子	
10:10～11:40	特別講演	竹原 清明	古木量一郎 大竹 昭
	特-1 超音波検査と技師の役割		
1:00～2:30	シ-1 人間ドック、集団健診における上腹部超音波スクリーニングの経験	飯島 秀人	高坂 登
	シ-2 検診における超音波の役割	寺島 茂	
	シ-3 関東中央病院超音波検査センターにおける技師の役割	久田 祐一	
	シ-4 集団検診に於ける腹部超音波検査 —当院のドック検診を中心として—	諸井 中	
2:40～2:52	9-6 臍描出率と食事(前夜)との関係	山田 清勝	小林 久雄
2:52～3:04	9-7 腹部超音波検査における食事の影響について	後藤ひさ子	
3:04～3:16	9-8 超音波断層法により判定し得た上腹部に限局した腹水の一例	丹生谷 徹	
3:16～3:28	9-9 超音波パルス・ドブラ法による三尖弁閉鎖不全の検討	老野生聡美	遠田 栄一
3:28～3:40	9-10 2-Dドップラー法による動脈管を介する左・右短絡の検討	高橋 敦子	